

医師と医師会を結ぶ情報紙

都医 NEWS

Vol. 698

発行所 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 1部77円

東京都医師会 第301回(臨時)代議員会	01
底流/地区医師会長連絡協議会報告 ほか	02
目黒区医師会創立90周年記念式典・祝賀会 ほか	03
第35回 医療とICTシンポジウム ほか	04
みどりの広場 ほか	05
ふれあいポスト ほか	06
感染症豆知識 ほか	07
地区医師会長からの一言	08



ネモフィラ咲く春の日比谷公園

東京都医師会 第301回(臨時)代議員会

東京都医師会 第301回(臨時)代議員会が、3月21日(木)に東京都医師会館で開催された。進行は窪田美幸代議員会議長と指田純代議員会副議長が務めた。代議員176名中143名が出席し、会議は成立した。なお、定款等の改正に関する議案については、総代議員の3分の2以上の賛成を必要とした。

■ 会長挨拶

尾崎治夫会長は、これから直面する東京の医療の課題について述べた。来年には団塊の世代がすべて後期高齢者となることを踏まえ、「東京では、人口が減らないまま高齢化が進み、外来、入院、在宅のすべての需要が伸び続けていることが特徴である」として、「今後、看護・介護力のない世帯が増えていく中で、24時間見守る支援体制が必要であり、東京都では強化事業を現在構築中である」と述べた。

また、「コロナ禍以降は高齢者の集いの場がなくなり、フレイルや認知症が進む状況が懸念されているため、かかりつけ医を中心としたサポート体制も必要である。同時に、周産期から高齢者に至るまで切れ目のない予防医療も展開すべきで、ここでもかかりつけ医の役割は重要であり、専門性をもった診療所の医師によるグループ連携でしっかりと診ていただきたい」と述べ、情報共有においては医療DXの充実に期待を示した。大



尾崎会長

学・都立病院に任せるだけでなく、「地域密着型の病院で勤務をしながら総合診療医としてのスキルを身につけ、地元を持ち帰って開業し活躍する医師を養成する開業支援委員会の構想も地域医療推進委員会会で検討中である」と報告した。

■ 報告

この他、コロナ禍で後退したタバコ対策に再度取り組み活性化していくこと、今後起こり得る大地震などの自然災害やパンデミックの有事に備えて、サージキャパシティとしての臨時医療施設を作り、平時から訓練をしていくことの必要性について述べた。また、

連沼剛副会長より「令和6年度東京都医師会事業計画」について、市川菊乃理事より「令和6年度東京都医師会収支予算報告」について報告があった。次に、東京都医師会定款等改正検討特別委員会の田村順二副委員長より、代議員会正副議長の選出、会費負担金等の賦課及び徴収、押

た、コロナ禍で事実上反する情報が氾濫したことを踏まえて、国民一人ひとりのヘルスリテラシーの重要性を指摘し、学校医を中心とした学校での健康教育の見直しと充実に結び、「2025

■ 議事

第1号議案「令和5年度東京都医師会会費減免申請に関する件」について、市川理事より説明があり、決議された。第2号議案「東京都医師会定款等の改正に関する件」について連沼副会長より、定款等改正検討特別委員会報告に沿って変更点の説明があり、総代議員の3分の2以上の賛成をもって決議された。

第3号議案「日本医師会代議員及び同予備代議員の選出に関する件」は水野重樹理事の説明の後、選挙管理委員会の木村暢孝委員長と赤松将之副委員長が登壇し選挙が行われた。両選挙ともに候補者数が定員と同数であったため、無投票で選出が決議された。

都医選出日医代議員(定員40名)		都医選出日医予備代議員(定員40名)	
竹内 聡美	指田 純	細部 高英	熊野 雄一
川上 一恵	中村 真一	佐々木 淳一	杉野 敬一
西村 正智	小泉 孝夫	阿部 聡	河野 博隆
佐々部 一	西田 伸一	小平 祐造	内山 浩志
矢島 俊巳	目々澤 肇	中島 耕一	坪田 淳
進藤 幸雄	稲葉 貴子	太田誠一郎	村上 幸人
齋藤 寛和	木内 茂之	内原 正勝	清水 寛
田部 浩生	内藤 誠二	笠井 清登	松田 健
落合 和彦	大山 高令	松坂 聡	増田 幹生
渡邊 英章	池上 晴彦	井田 博幸	浅野 優
窪田 美幸	水野 幸一	大坪由里子	櫻井 誠
蓮沼 剛	齋藤 英治	継 仁	三輪 隆子
加藤 一彦	平川 博之	小松 淳二	莊司 輝昭
鳥居 明	新井 悟	相良 博典	小池 竜司
市川 菊乃	山室 学	高木 智匡	田村 順二
中嶋 伸	鳥羽 正浩	山下 弘一	堀 浩一朗
土屋 淳郎	平澤 精一	弘瀬知江子	荒井 敏
浅川 洋	渡邊 仁	水野 重樹	遠藤 素夫
小林 弘幸	内海 裕美	佐々木 聡	大屋敷一馬
伊藤 大介	土谷 明男	代田 浩之	関根 秀明

底流

東京都医師会

学校保健学校医委員会が作成した

健康教育用スライド

これからもヘルスリテラシー

東京都医師会の学校保健学校医委員会では、がん教育、喫煙防止、薬物乱用防止、性教育などこれまで10のテーマで健康教育用スライドを作成してきた。また、コロナ禍では学校保健担当理事が感染防止に関するスライドや動画などを作成し、その都度東京都医師会のホームページに掲載してきた。学校医や養護教諭に限らず誰もが閲覧可能であり、是非ダウンロードして活用していただきたい。

しかしながら、岩手県で開催された令和4年度第53回全国学校保健・学校医大会で筆者が発表した、小中学校における新型コロナウイルス感染症予防対策に関するアンケート調査の結果では、対象は都道府県の公立小中学校に勤務する学校医・養護教諭に限ったものであったが、東京都医師会のホームページに掲載されていることを知っている

学校医・養護教諭はわずかに20%に留まっていた。東京都医師会からの発信が十分でなかったことを反省し、どのように発信することで多くの学校医・養護教諭に届けられ、活用していただけるか再検討の必要性を感じた。刻々と状況が変わっていく中で掲載内容が古くなってしまっていることもあるが、活用しやすいように基本的なことから、変化の過程、現時点の状況がわかりやすい内容づくりを意識して取り組んでいる。

本年8月1日(木)に行われる令和6年度関東甲信越静学校医協議会は東京が当番で開催を予定している。東京都医師会ではこれまで常にヘルスリテラシーの普及啓発を行ってきたが、今年度の協議会では、今まで以上にヘルスリテラシー(生活の質を向上させるため、保健医療や疾病予防、ヘルスプロモーションに関する情報を「入手」「理解」「評価」「活用」する能力)教育の重要性について強く発信していきたいと考えている。

学童期より生涯を通じて健康に関心を持ち、健康・安全で活力ある生活を送るための知識を身に付け、自己管理(セルフケア)を実践し、自



東京都医師会ホームページ「健康教育用スライド」

多摩ブロック医師会 代議員連絡会懇親会

2月26日(月)、標記連絡会懇親会が4年ぶりに開催された。内原正勝三鷹市医師会長による司会進行で、中嶋伸武蔵野市医師会長より開会挨拶があった。議題として令和5年会計に関する報告等について諮られた。

引き続き懇親会が開催され、東京都医師会からは尾崎治夫会長をはじめ10名の役員が出席した。尾崎会長は挨拶で、先般東京都病院学会において行われた(公財)結核予防会の尾身茂理事長による特別講演を振り返り、講演ではCOVID-19流行初期の韓国における感染対策体制の写真とともに、「我が国の感染症対策が韓国や台湾に非常に遅れていることが示された」と述べた。また、新型コロナウイルス感染症に係る公的支援が3月で終了することから、「人口密集地の東京では、災害時の喫煙の対応策として、臨時医療施設の設置と並行して避難所や水供給の整備が必要である」と語った。

東京都医師会役員の紹介後、窪田美幸東京都医師会代議員会議長より乾杯挨拶があった。その後は新任の代議員紹介とともに挨拶があり、櫻井誠府中市医師会長の閉会挨拶で懇親会は盛会裏に終了した。



出席者による記念撮影

地区医師会長 連絡協議会報告

令和6年3月15日(金)



挨拶する柳澤氏

冒頭に、東京都医師会功労賞の表彰式が行われた。令和



左から 永井氏、宮田氏、尾崎会長、柳澤氏、今村氏

5年度は5名が受賞し、当日は4名が参加した。受賞者には尾崎会長から表彰状と記念品が授与され、代表して柳澤裕之氏(慈恵医師会)が謝辞を述べた。

- ◎都医からの伝達事項
- (1) 令和6年能登半島地震における東京都医師会の対応(JMAT関連)について

本年1月1日に発生した能登半島地震における本日まで

の状況と、東京都医師会の対応方針について報告した。
 - (2) 災害時安否確認システムについて

「安否確認システム」は地震・津波が発生した際に対象者の安否確認を行う仕組みで、災害発生時にプッシュ型で携帯にメールされる。地区医師会で安否確認システムを導入していない場合は、都医のシステムの利用をご検討いただきたい。
 - (3) 第2回フレイルサポート医研修会の開催について

高齢者のフレイル対策は重要課題であることから、東京都健康長寿医療センターと協力のうえ、第2回フレイルサポート医研修会を4月13日(土)午後2時から集合形式で開催するので、多くの会員にご参加いただきたい。
 - (4) 東京都認知症サポート医地域連携促進事業(新規事業)について

東京都と東京都医師会では認知症サポート医の活動を活性化するため、地域包括支援センター等と連携して活動している認知症サポート医を、東京都「東京都地域連携型認知症サポート医(とうきょうオレンジドクター)」として認定して公表周知する事業を令和6年度より開始するので、ご協力いただきたい。本事業については、改めて地区医師会担当理事連絡会を開催予定である。
 - (5) ニューレジリエンスフォーラムについて

本フォーラムは、感染症や自然災害に強い社会を目指し、医療界、経済界、防災関係、自治体関係等の各界代表が発起人となって令和3年6月に設立された団体で、尾崎会長が「賛同者」の拡大に協力する「呼びかけ人」に就任している。地区医師会長の先生方にも活動にご賛同のうえ「賛同者」にご就任いただきたい。また、ニューレジリエンスフォーラム東京「多摩地区の集い」が、4月7日(日)午後2時から立川市の紫崎学習館ホールで開催されるので、多摩ブロックの地区医師会から各2〜3名、合計50名程度の動員をお願いしたい。

- ◎地区医師会からの報告
- (1) 城東ブロック

①第37回足立区医師会(足立区医師会)
 - (2) 城西ブロック

①世田谷区における在宅医療推進強化事業(今期実施事業内容)について (世田谷区医師会)
 - (3) 多摩ブロック

①第6回調布医学会について (調布市医師会)

②令和5年度第1回多摩ブロック医師会代議員連絡会並

令和5年度 東京都医師会 功労賞受賞者 (敬称略)

- 東京都医師会代議員(10年在任)

柳澤裕之 (慈恵医師会)
- 東京都医師会委員会委員(10年在任)
- 感染症予防検討委員会

今村顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院)

永井英明 (国立病院機構東京病院)
- 医事紛争処理委員会

加藤 実 (春日部市立医療センター)
- 東京都医師会在宅医療委員会小児在宅医療部会

宮田章子 (立川市医師会)

◎その他 (練馬区医師会)

①第155回日本医師会臨時代議員会における代表質問について

◎出席者による意見交換 (武蔵野市医師会)

①東京都医療機関等物価高騰緊急対策事業支援金につ

目黒区医師会創立 90周年記念式典・祝賀会



渡邊会長

2月17日(土)、目黒区医師会創立90周年記念式典・祝賀会が開催された。

目黒区医師会から80余名で設立された。昭和27年9月には新憲法に基づき社団法人目黒区医師会に、平成25年の新公益

法に基き、永年会員(入会30年以上)76名、永年役員(役員・委員20年以上、入会30年以上)6名、渡邊真浩さん、朴賢娥

さん(被曝された。その後、医師会の歴史がスライドショーで上映され、モノクロの写真は現在の目黒区とは異なり長閑な、どこか懐かしい風景が広がっていた。時代を経るに従い、風景や医師会館の様子も変化していき、90年という年月の長さが感じられた。スライドにはサプライズが用意されており、目黒区在住のタレントタモリ氏から目黒区の先生方への感謝と90周年を祝うビデオメッセージが映写されると会場からは感嘆の声が上がった。

令和5年度 東京都医師会「医学研究賞」および「医学生懸賞論文 Student Doctor プラタナス大賞」表彰式

3月5日(火)、東京都医師会館において令和5年度東京都医師会「医学研究賞」および「医学生懸賞論文 Student Doctor プラタナス大賞」の表彰式が行われた。

※受賞論文の全文は、東京都医師会雑誌に掲載されます。「医学生懸賞論文 Student Doctor プラタナス大賞」は3月号「医学研究賞」は7月号に掲載

会場では『新型コロナウイルスとの3年間の闘いの記録』が参加者に配布された。月日の経過を縦糸に、保育園・特別養護老人ホーム・自宅療養者など種々の場面を横糸に多くの会員が寄稿した記録誌であった。新型コロナウイルスの闘いを経て迎えた90周年記念式



典・祝賀会は、目黒区医師会会員の皆様にとって感慨深いひと時となったことであろう。

同封されている受診券シール・同意書と保険証を持参して、もの忘れチェック実施協力医療機関を無料で受診できるという事業。認知機能の項目説明や、主たる



挨拶をする斎藤会長

への黙祷から始まり、渡邊英章目黒区医師会長の式辞へと進んだ。目黒区医師会の創立は、東京市による市郡併合が交付され「目黒区」が誕生したのと同じ昭和7年10月、それまでの「荏原郡医師会」で日本一高い接種率を得られた」と述べた。

記念式典の後に行われた祝賀会では、尾崎治夫東京都医師会長、自見はなこ参議院議員、羽生田俊参議院議員からお祝いの挨拶があった。

3月9日(土)、湾岸四都市医師会懇談会が都内ホテルにおいて開催された。今年度の主務地医師会は千葉市医師会、同医師会の小出明範総務理事による司会進行で始まり、大濱洋一副会長の開会挨拶の後、斎藤博明会長から挨拶があった。次に各都市医師会長挨拶として、戸塚武和横濱市医師会長、岡野敏明川崎市医師会長、尾崎治夫東京都

未滿)19名、特別功労賞3名の表彰が行われ、永年役員代表として花谷勇治前会長が、特別功労賞の代表として五十嵐良典氏が挨拶をした。その後、来賓の松本吉郎日本医師会長、青木英二目黒区長より祝辞が述べられ、式典は終了した。

令和5年度 湾岸四都市医師会懇談会

プラタナス大賞は、医学生に自らが考える医師像や医療のあり方を創出してもらい、また将来医師となる医学生を支援し、意識を共有して新たな医師会活動につなげることを目的として令和3年度に創立され、「医学の父」ヒポクラテスがその木陰で弟子たち



(後列) 大澤委員長、八木さん、石ヶ森さん、大坪理事 (前列) 落合理事、中野先生、尾崎会長、平川副会長

令和5年度 東京都医師会医学研究賞・奨励賞

- 【医学研究賞】**
 - 中野正博 (東京大学医師会) 理化学研究所 生命医科学研究センター ヒト免疫遺伝研究チーム 学振特別研究員PD 「全身性エリテマトーデスの発症と増悪に関わる遺伝子発現異常の解明」
- 【奨励賞】**
 - 安達裕功 (東京大学医師会) 東京大学医学部附属病院 循環器内科 特任研究員 「血管周囲脂肪-免疫細胞連関による動脈硬化の新規病態制御メカニズム解明」
 - 西山崇比古 (慶應医師会) 慶應義塾大学医学部循環器内科 特任助教 「難治性拡張型心筋症に対する塩基編集技術を用いた新規治療法の開発」
 - 松沢 優 (東京医科歯科大学医師会) 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 生体検査科学講座 疾患生理機能解析学分野 准教授 「The γ δ IEL effector API5 masks genetic susceptibility to Paneth cell death」
 - 萬代新太郎 (東京医科歯科大学医師会) 東京医科歯科大学病院 血液浄化療法部 「慢性腎臓病由来の細胞外小胞による血管石灰化機序の解明」
 - 横山美樹子 (順天堂大学医師会) 順天堂大学医学部附属浦安病院 眼科 助教 「慢性アレルギー性結膜炎の病態形成における記憶型Th2細胞の関与と痒みの誘導」

令和5年度 東京都医師会 医学生懸賞論文 Student Doctor プラタナス大賞

- 【大賞】**
 - 八木有紗さん (昭和大学) 「地域の診療所から社会貢献を」
- 【優秀賞】**
 - 鈴木麻衣子さん (東京女子医科大学) 「ICUせん妄に対し、窓型デバイスを用いた空間設計によるアプローチは有効か」
 - 石ヶ森威彬さん (杏林大学) 「地域への愛着を育み、医師を確保する未来」

第35回 医療とICTシンポジウム

デジタル技術を活用した医療DXについて討論



パネルディスカッションの様子



特別講演の八木准教授

3月16日(土)、東京都医師会館にて第35回医療とICTシンポジウムがハイブリッド形式にて開催された。本シンポジウムは地区医師会情報担当理事連絡会を兼ねており、web参加62名、会場参加46名だった。尾崎治夫東京都医師会長と松本吉郎日本医師会長の挨拶の後、日々澤理事連絡会業務連絡として医療DXと東京総合医療ネットワークの進捗について講演が

あった。続いて、昭和大学医学部救急・災害医学講座の八木正晴准教授より「救急医療・災害医療における医療DX」と題して特別講演があり、災害時のIP無線を利用した取り組みなどが報告された。

また、東京都が令和5年度中盤より開始した在宅医療推進強化事業(24時間診療体制推進)における「デジタル技術を活用した医療DX」について、東京都医師会医療情報検討委員会の野村和至委員長より概説があり、各地区の活動を①野村和至氏(板橋区医師会)、②永田拓也氏(江東区医師会)、③三浦和裕氏(品川区医師会)、④太田雅也氏(世田谷区医師会)、⑤土屋淳郎氏(豊島区医師会)より報告された。佐々



日々澤理事

東京都医師会は、3月12日(火)に定例記者会見を開催した。

木聡東京都医師会理事からは、現在都内13地区において本事業における連絡ツールとして採用が予定されている「Medical Care Station(MCS:日本エンブレス(株))」について、実情に合わせて機能強化するための方策を各地区で別々に発注することは手間や無駄が多く、費用もかかることから統一的な交渉を行っていることが報告があった。

尾崎治夫会長は、新型コロナウイルス感染症に係る公的支援終了に伴う、4月からの診療内容や患者側の負担等について解説した。特に高齢者や重症化しやすい方に必要となるワクチンは、インフルエンザと同時に接種することを想定するよりは負担は大きいと指摘した。治療薬については、今のところJN-1株は感染力が非常に強いもの、重症化はしていないという点だが、今後の変異は不透明であると懸念を示し、公費を再度適用することも含め継続的に注視していく必要があると述べた。また、発熱外来が終了して通常診療に戻ることに、今後は発熱患者も断らずに診て欲しいと呼びかけた。次に、札幌市の下水サーベイランスによる結果を示し、定点観測との乖離を指摘したうえで、新型コロナウイルス感染症の実態把握の手段として下水サーベイランスの全国展開を整備し直す地区もある。

本事業は24時間の在宅療養に対する診療体制を強化するものであり、さらにICTを用いたモニタリングや電子カルテの医療機関相互の連携強化などを組み合わせて、担当する医師の負担を軽減することを目標としている。すでに医療介護連携で実績のある地区では上乗せ部分となるモニタリングなどを検討している一方、今回改めて医療介護連

東京都医師会 定例記者会見

開を望むと語った。土谷明男副会長は、いよいよ本年4月から施行された「医師の働き方改革」の新制度について概説し、医師の健康確保を目的とした本制度が「結果として質の高い医療の提供につながる」と述べた。医療機関での対応としては、宿日直の業務状況や自己研鑽としての取り扱いに関する取決めが求められる。また、今後は各水準における時間外労働時間の規制により医師不足の頭在化が懸念されること、地域医療連携や診療レベルそのものが維持できるのかも含めて長期的な影響が課題であると語った。



尾崎会長

地区医師会新会長紹介

- ①最終卒業校
- ②略歴
- ③趣味
- ④好きな言葉

葛飾区 大山 高令 (内科、消化器内科、循環器内科、小児科) 医師会



- ①筑波大学大学院
- ②葛飾区医師会理事、同副会長、都医代議員、東京東部地域産業保健センター代表、葛飾区体育協会副会長、葛飾区社会福祉協議会理事
- ③神社仏閣御朱印巡り、スイミング、愛犬散歩
- ④百折不撓、ブラッシュアップライフ

玉川 池上 晴彦 (内科、循環器内科) 医師会



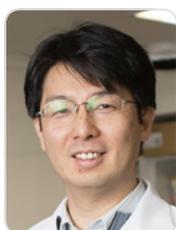
- ①筑波大学医学群
- ②玉川医師会理事、同副会長、都医代議員、同タバコ対策委員会副委員長
- ③ゴルフ、楽器(バイオリン、エレクトーン)、読書、スポーツ観戦(ラグビー)、野球
- ④精神一到何事か成らざらん

大森 水野 幸一 (内科、消化器内科、漢方内科) 医師会



- ①韓国中央大学校 医科大学
- ②大森医師会理事、同副会長、都医代議員
- ③ゴルフ、旅行
- ④得意淡然、失意泰然

豊島区 土屋 淳郎 (内科、小児科、放射線科) 医師会



- ①昭和大学大学院医学研究科
- ②豊島区医師会理事、都医医療情報検討委員会委員
- ③スポーツ観戦
- ④人にはやさしく

武蔵野市 中嶋 伸 (呼吸器内科、内科) 医師会



- ①東京医科大学大学院医学研究科
- ②武蔵野市医師会理事、同副会長、都医代議員
- ③ロードバイク、マラソン
- ④美るほど頭を垂れる稲穂かな

町田市 山下 弘一 (内科、脳神経内科、脳神経外科、放射線科) 医師会



- ①聖マリアンナ医科大学医学部
- ②町田市医師会理事、同副会長、都医代議員
- ③テナーサクソ演奏、ガーデニング、極真空手
- ④一期一会

193 みどりの広場

「ずっとここで暮らす」を実現していく 地域医療を目指す

地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立東部地域病院

院長 稲田英一



都立東部地域病院は公益財団法人東京都保健医療公社の最初の病院として、平成2(1990)年に開設されました。東京都内第1号の地域医療支援病院の承認を受け、区東北部における地域医療に貢献してきました。許可病床数は314床であり、ICU・CCU6床を持つ高度急性期医療を行っております。令和4(2022)年7月に東京都立病院機構の一員として新

たな一歩を踏み出しました。東京都立病院機構の「大都市東京を医療で支える」という理念の下に、「ずっとここで暮らす」を実現していく地域医療を目指し、医療を広範に展開しております。新型コロナウイルス感染症対応では、発熱外来を救急外来のほかに院外のアプローチ施設に設けるなどし、病棟は最大3病棟、130床を準備するといったように病院をあげ

がん、前立腺がん、膀胱がん、子宮がん、卵巣がん、腎がん、肺がんなどの治療を行っています。低侵襲治療に力を注ぎ、消化器内科では内視鏡検査に加え、消化器がんに対して内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、肝臓がんに対応してきました。このほかにも、PCR検査機器の複数導入、簡易陰圧装置を付けた16室の陰圧室の設置なども行いました。今後も新型コロナウイルス感染症患者の診療に対応してまいります。当院の得意とする一般診療について紹介させていただきます。

がん診療においては、東京都がん診療連携協力病院の指定を受けている胃がん、大腸がんのほか、肝臓がん、膵臓がん、前立腺がんのロボット支援手術を開始し、結腸がん、子宮体がんにも適応を広げています。肝臓がんや膵臓がん、肺がんに対しても手術療法を

投与も含め入院・外来化学療法を積極的に導入しております。緩和ケア外来を持つほか、がんサロンの定期的な開催や、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の導入により、全人的なケアを行うております。小児科は、小児アレルギー外来を開設し、食物アレルギーに対する食物経口負荷試験なども行うほか、小児内分

小学校時代「わたしたちの千代田区」という地図で区内を習い、その知識で半世紀を生きてきた。九段から散歩を始める。左手に千鳥ヶ淵を眺め、坂を上ると靖國神社がある。境内には大鳥居と大村益次郎の銅像

がそびえ、秋には銀杏の葉が真っ黄色に色づく。季節を感じさせてくれるところである。お堀に沿って内堀通りに進むと、かつてフェアマントホテルがあった。そのテラスからの桜を今も思い出す。いい時代だった。三番町には科学警察研究所があり、興味津々に中を覗いたものだ。奥の番町は旗本の武家屋敷でその区画は広大であり、現在のマンションは1軒の屋敷跡であることが多く、英国大使館も4軒の屋敷跡である。

服部半蔵が警護のために住んでいた半蔵門から四谷までの通り沿いが麹町である。古い町人町で商家が並んでいたが今はオフィス街に変貌している。麹町



山王日枝神社

千代田の城の月 江戸の名残に思いを馳せる

趣味の散歩

坂を下り弁慶橋を渡ると大久保利通の哀悼碑がある清水谷公園がある。向かいのカフェテラスもおすすめてある。永田町に向かうと山王日枝神社がある。比叡山の麓、日吉大社にルートを持ち、狛犬ならぬ猿が迎えてくれる。江戸の風情も感じる散歩であった。(千代田区医師会・佐々木俊浩)

知っていますか?

SDS (Safety Data Sheet)

SDS(安全データシート)は、有害性のおそれがある化学物質を含む製品を他の事業者へ提供する場合に、その製品の性状や取り扱いに関する情報を提供するための文書。化学物質を扱う全ての人に危険有害性に関する情報を提供することを目的とし、法律で義務化されている。産業医であれば作業環境チェックの際に思い出したい。

循環器内科は、東京都CCUネットワークに参加し、急性冠症候群に対してのイン

「ずっとここで暮らす」を実現していく地域医療を目指し、今後も広範な展開をしてみたい。今後とも先生方の御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

心れあいポスト



各地区会報から

三鷹市医師会

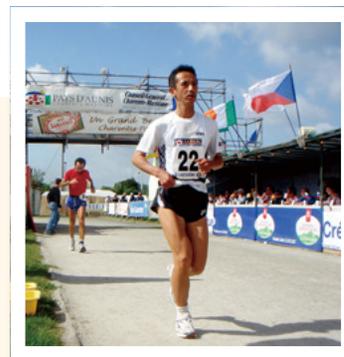
大滝雅之

現状打破

私はウルトラマラソンをしているが、還暦になり相当走力は低下した。それよりも困っているのが夜間の眠気だ。昨年のギリシャの246kmレースでも眠りながら山道を蛇行して走り道はずれ、崖を駆け下り危険を感じリタイアした。眠気対策もいろいろ試みたが全て無駄だった。眠気に弱くなるのは人間の防衛本能だと思う。「これ以上続けると危険だよ。そろそろ休もうね。」という誘いが、高齢者ほど安全を考えて早目に来るのだろう。しかし限界ギリギリで戦うレース中には迷惑な話だ。この点で私が見本にしたい選手が、川内優輝さんだ。彼はいつもギリギリまで追い込み、以前は毎回ゴール後に倒れ車椅子に乗った。先日のMGC選考会では彼は勇気をもっ

て一人飛び出した。実力では差が歴然としているので、勝つにはこの方法しかなかった。35kmまでのトップ維持も凄いが、追いつかれてからの粘りが素晴らしく、最後はあの大迫傑選手にわずか数秒差で4位に入った。限界を越えて頑張れるあのマインドはどうしたら手に入るのだろうか？今度のレースでは彼のことを思い出して頑張りたい。(表題の現状打破は、川内優輝さんの座右の銘です。)

(「三鷹人往来」2024年1月 第46巻1号より抜粋)



中野区医師会

野口悦正

マイルのご褒美!?

コロナが収束し日常を取り戻すと、旅行に行きたくなるものです。飛行機で出かけるためには先立つもの、つまりマイルが必要になるわけですが、便数が減ってしまったため座席を獲得するための必要マイル数が多くなってしまいました。車やレントゲンなど大きなものはすでにカード払いにしているし、さて困った…、と思って見回してみると一番多く支払っているものは実は税金なのではないかと気づきました。調べてみると最近流行しているPay払いというものであれば手数料がかからない上にポイントつまりマイルが付くというではありませんか。これをやらない手はないと始めてみると上限は30万円…。でもさらに調べるとこれを複数回やって払いきった猛者がいることが判明、自分も正の字を書きながら過不足なく払いきりました。同じ支払いが続くと不審に思われたようでクレジットカードが3枚止まってしまい数日かかりましたが。

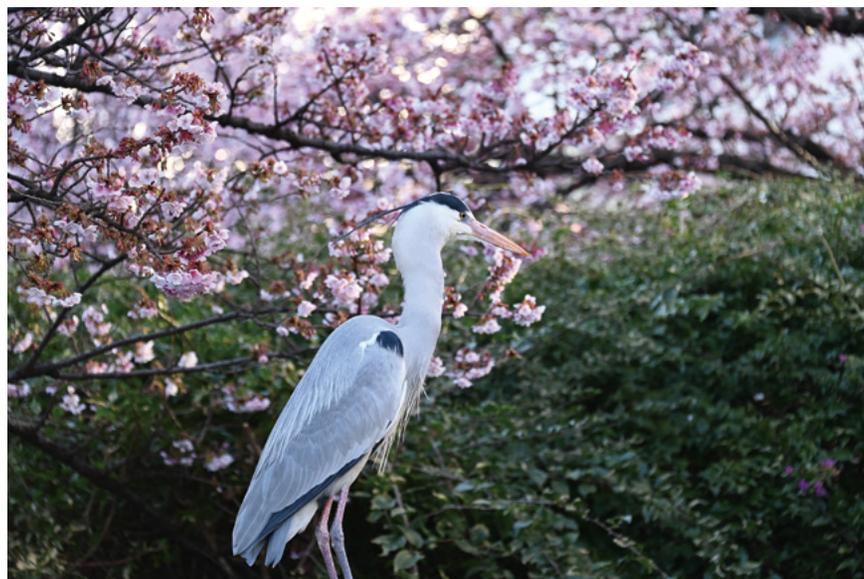
さあ、こうして得たマイルでまずは手始めに韓国グルメ旅行を試みることにしました。目的は食事ですから妥協するわけにはいきません。ブルコギと冷麺のために120組待ちに並び、サムゲタンは別の専門店ですべて、満足して帰りの飛行機。

飛び立ってシートベルト着用サインが消えた頃でした。通路側に座っていたのですが、ドサッとすぐ後ろから物音がしました。振り向くと70歳代と思われる女性が倒れています。こんなに近くで発見したらドクターコールがなくても、おこがましいのは承知で出ていくしかありません。客室乗務員から救急セットを受け取りまずは血圧から測定。大丈夫、次血糖、オーケー、一度は問題なしとして着席してもらいました。間もなくして意識消失、これは大変、とすぐに横になってもらい救急セットを探るとボスミンやらサクシゾンなど出てきましたが、まずは生理食塩水で静脈確保です。揺れる機内でなんとか静脈を確

保し補液、だんだん元気になってきたのを確認したのは羽田空港に到着する少し前でした。空港の診療所まで同行し、この日現地は暑く経過から熱中症かもしれないなどと申し送っていたら、お腹がすいてきました。バタバタしていて食事を飛ばされたようですが、いいんです、さんざん食べてきたのですから。「お礼を…」と職員に言われましたが、いいんです、当然のことでした。本当は「ではマイルを、」と言いたかったことなんて絶対ありません。

※席から調べたようで、しばらくしてから航空会社からお礼の品をお送りいただきました。

(「中野区医師会新聞」2023年8月 No.674より抜粋)



鷺と熱海桜

玉川医師会 清水泰雄

令和6年 診療報酬改定講習会

診療報酬改定講習会の第3回(5/15(水) 18:30~ 会場:たましんRISURUホール)は会場に若干の余裕があり、引き続き参加を募集しております。詳細はホームページをご確認の上、参加希望の方(医師・事務職員等)は研修申込システムよりお申込みください。第1回、第2回の内容にさらに新しい情報を追加する予定です。

令和6年度 診療報酬改定に関する情報(都医ホームページ)

<https://www.tokyo.med.or.jp/33034>

※令和6年度 診療報酬改定に係る資料や講習会の最新情報を掲載しております。



無声拝聴

忸怩たる思い

忸怩たる思い：深く恥じ入るさま—明鏡国語辞典より

先日(令和6年2月)、日本のGNPがドイツに抜かれ第4位に転落したとのニュースを耳にした。ドイツで生活した経験のある者としては、コンビニが至る所にあるわけではなく、土日となれば生活必需品や食料品は簡単に手に入るわけではないといった利便性のなさや、レストランのウェイトレスのぶすっとした愛想のなさを差し引いたとしても、休日がいっしょに取れてメリハリのある働き方ができる点や食料品や生活必需品の安さを考えれば、ドイツの方が生活の質が高いと感じていた。以前より日本の労働生産性がドイツに比べて圧倒的に低く、そのことが日本経済の弱点の一つと指摘されていたが、つい

に日本経済の凋落がここまで来たかと忸怩たる思いを抱いた。なぜならばドイツの人口は8400万人、一方日本の人口は1億2400万人、人口減が日本経済を弱くしていると言われる中、そのことがただ単なる言い訳ではないかと疑われるデータを突き付けられているからである。

さて、日本の経済を弱くした原因の一つがデフレによるものと言われる中、ようやく多くの企業が賃上げの方向へ舵を切り、インフレを誘導し豊かさを庶民に実感してもらおう方向へ動き出した。昭和の時代、一人ひとりが苦しくて明日を信じて頑張った時代のあの希望を今取り戻せるかの岐路にあると言っても過言

ではない。そんな中2024年の診療報酬改定がまじり、世界的に見ても低く抑えられ気味の医療者全体の賃金改善のために本体0.88%の引き上げで決着した。多くの項目がマイナス改定の中で行われる初再診料の引き上げであるが、ここでは高い安いの私見は差し控えるとする。ところがその最中、支払い側のある人物より「入院基本料、初再診料の引き上げは忸怩たる思い」の発言があった。ただ単に入院基本料や初再診料が上がったことに対してのみ発せられたとしたのなら、考えの至らない所に忸怩たる思いを噛みしめて欲しいものである。

(山本純)

多剤耐性肺結核と新規抗結核薬

結核治療でキードラッグとされるリファンピシン(RFP)とイソニアジド(INH)がともに耐性化した結核症を多剤耐性結核(MDR)と呼ぶ。肺のMDRは、その他の抗結核薬を使っても排菌が停止せず、隔離と治療のため結核病棟に入院したまま一生を終える患者も少なくなかった。

1955-1970年代のINHとストレプトマイシン(SM)にパス(PAS)またはエタンブトール(EB)による3者併用療法は多くの結核患者を救ったものの、空洞のある肺結核の根治には手術を併用するのが一般的だった。それは旧来の抗結核薬が水溶性で、脂質成分からなる空洞病変内に浸透できないためだった。しかし、1975年頃に脂溶性薬剤のRFPが登場すると空洞壁を透過して結核菌を滅菌したため、耐性のない肺結核の手術は不要となった。1980年代以降のINHとRFPを主軸とする4剤治療は、世界中の結核患者に福音をもたらしたが、その陰でMDRが生まれていた。これは排菌の続いたINH耐性肺結核に、新薬RFPを追加投与してRFPも耐性化したためであった。

こうして既治療MDR患者が生まれると、更に周囲に感染させて未治療MDRも世界中で急増したのである。米国ではMDRによる院内集団感染が多数発生して、死亡率も高く大きな社会問題となった。このMDRを根治させるには、数年間の内科治療と肺手術が必要とされてきた。しかし2012年以降に脂溶性のベダキリン(BDQ)やデラマニド(DLM)などの新規抗結核薬が登場することで、本邦でもMDRは手術せず根治可能な疾患になったのである。米国ではBDQとリネゾリド(LZD)と本邦未発売のプレトマニドの6カ月治療が、MDRに対する標準治療になっている。

(文責：尾形英雄)

感染症豆知識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

都医からのお知らせ INFORMATION

第464回 国際治療談話会 例会 「内視鏡領域における産学連携 展望と本邦の課題」

問合先 (公財)日本国際医学協会 事務局 東京都世田谷区上馬1-11-9-3F
TEL: 03-5486-0601 E-mail: 03-5486-0599
E-mail: imsj@imsj.or.jp URL: https://www.imsj.or.jp/

日時▶5月23日(木) 19時~21時 形式▶WEB講演
開会挨拶▶石橋健一((公財)日本国際医学協会 理事長) 座長▶炭山和毅((公財)日本国際医学協会 理事)
【第1部】感想「様変わりし続ける企業を目指して~挑戦・継続が叶えた医療分野参入~」田中寛人(株式会社オクムラ 代表取締役社長) / 【第2部】講演I「医療AIの第一線 ~大学発スタートアップの挑戦~」島原佑基(エルピクセル株式会社 ファウンダー) / 講演II「軟性内視鏡関連機器の開発：外科医の目線」中島清一(大阪大学大学院医学系研究科次世代内視鏡治療学 特任教授)
取得単位▶日医生涯教育制度1単位(CC:7,9)取得予定
申込方法▶右記2次元コードまたは当協会ホームページよりZoomウェビナーページへの事前登録をお願いいたします。
視聴▶無料



第30回 日本保育保健学会in東京 「みなおそう!こころとからだの健康 ~ 保育期から就学までの橋わたし~」

問合先 (一社)日本保育園保健協議会
TEL: 03-6912-1222 URL: https://nhhk30.jp/

日時▶5月25日(土)・26日(日)
会場▶「きゅりあん」品川区立総合区民会館(東京都品川区東大井5丁目18-1)
開催形式▶現地+オンデマンド開催 会頭▶萩原温久(萩原医院)
実行委員長▶権 暁成(K DENTAL CLINIC)
講演▶
25日(土) / 12:30受付開始
会頭講演: 萩原温久(萩原医院)
会長講演: 藤田 位(兵庫県小児科医会会長・藤田小児科医院)
基調講演: 岡 明(日本小児科学会会長・埼玉県立小児医療センター病院長)
特別講演1: 豪田トモ(映画『こどもかいぎ』監督)
シンポジウム1「アタッチメントを知ろう」近藤清美(帝京大学大学院 文学研究科教授) / 青木 豊(あおきメンタルクリニック院長) / 友田明美(福井大学 子どものこころの発達研究センター教授)
26日(日) / 8:30受付開始
教育講演1: 弘中祥司(昭和大学歯学部教授)
教育講演2: 北山ひと美(「人間と性」教育研究協議会、和光小学校非常勤講師)
特別講演2: 自見はなこ(参議院議員、小児科専門医)
教育講演3: 大石智洋(川崎医大臨床感染症学教授、小児科)
ランチタイムセミナー「AEDの正しい使い方」東京消防庁 大井消防署警防課救急隊の皆さん
教育講演4: 今井孝成(昭和大学小児科教授)
教育講演5: 鈴木健史(東京立正短期大学准教授)
シンポジウム2「ことばを育む」岩崎淳也(国際医療福祉大学 成田保健医療学部准教授、言語聴覚士) / 原 由紀(北里大学医療衛生学部教授) / 奥村安莉沙(注文に時間がかかるカフェ代表)
参加費▶
【保育・看護・教育関係】日本保育保健協議会 会員6,000円、非会員8,000円
【医師・歯科医師】日本保育保健協議会 会員8,000円、非会員10,000円

医師国保からのお知らせ

令和6年4月からの保険料について

令和6年4月分より、保険料を下記のとおり改定いたしました。

	医療保険料(月額)		介護納付金 保険料 (月額)	後期高齢者 組合員保険料 (月額)
	医療給付費 保険料	後期高齢者 支援金等保険料		
第1種	34,500円	5,000円	6,000円	—
第2種	13,500円	5,000円	6,000円	—
家族(中学生~74歳)	7,500円	5,000円	6,000円	—
家族(未就学児・小学生)	4,500円	5,000円	—	—
第3種	—	—	—	1,000円
第4種	—	—	—	1,000円

※介護保険料は、40歳以上65歳未満の方が該当します。
※後期高齢者組合員保険料は、第3種・第4種組合員(75歳以上)の方が該当します。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6433 (業務課)

地区医師会長からの一言

東京医科歯科大学病院の災害医療

東京医科歯科大学医師会長 藤井靖久



2023年度より東京医科歯科大学医師会長を拝命いたしました藤井靖久と申します。診療科は泌尿器科で専門は悪性腫瘍です。皆様、どうかよろしくお願ひいたします。

当院は、社会貢献を重視し、自治体、医師会の先生方と連携し、新型コロナウイルス診療では都内で最も多数の重症患者を診療いたしました。社会貢献の一環として災害医療も重視しており、2023年10月から本格稼働しているC棟（機能強化棟）がその中心的役割を果たします。C棟は、大地震発生時にも医療を継続できるよう、強力な免震装置や96時間の停電にも対応可能な非常用発電機、太陽光発電パネルも設置しています。最新の医療システムを備えた大規模のERでは、救命救急センター（手術室・重症処置室など全10室）やER専用病棟（ER-ICU-HCU 全30床）を有しています。医療器材の洗浄・滅菌管理等を行う材料部では、停電時も滅菌処理などができる体制が整い、有事の際にも対応できるよう医療品を備蓄・管理しています。1階ホールには災害時等に使用できる医療ガスを供給する設備や非常用コンセントがあり、災害やテロなどが発生した際にはホールでも医療提供ができるようになっています。

災害の超急性期に緊急医療を提供するDMAT（災害派遣医療チーム）や、災害後長期間にわたって医療支援と健康管理に従事するJMAT（日本医師会災害医療チーム）の隊員も多く在籍しています。東日本大震災や西日本豪雨、熊本地震、そして海外の災害現

場でも活躍しました。本年の能登半島地震ではDMAT、JMATチームに加え感染症対策チーム等多くの医療チームが現地で支援しています。DMAT隊員へ研修を行う役割も担って活躍している職員も多く、広く日本の災害医療のブラッシュアップにも貢献できるよう努めております。

本学は本年10月の大学統合を控え、災害に関わる全ての情報を集約・一括管理して、高度の災害対応を実践していくことを目的に、現在の災害テロ対策室と病院新型コロナ対策室を統合し、災害危機管理部に発展させる予定です。但し、東京で大規模災害が発生した際には多くの医療機関の連携が必須となりますので、あらかじめ医療機関、医師会、行政が協同して、大規模災害を想定した医療連携体制を構築する必要があると考えます。

当院はJMATの派遣などで医師会に貢献してまいりましたが、本学の医師会は都内の大学医師会で会員数が最も少ないのが現状です。医師会は開業医や民間医療機関を中心とした組織であるという認識が払拭されていないのが一つの原因と思われます。昨年度から研修医の説明会では医師会の資料を配布することとし、また、「令和6年度東京都医師会 医学生、研修医等をサポートするための会」を開催させていただく機会をいただき、本年12月7日（土）に本学内で行う予定です。会員数増加につながるよう期待しています。東京都医師会の先生方からのご指導、ご協力をお願いすることになりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。